

## 《第5回飯倉駅前地区まちづくり協議会 議事録》

日付	平成28年9月10日(土)	14:00~15:30	晴れ	書記	浦田
出席者	委員	井上 峰夫(会長)、野澤 善一郎、村井 康裕(代理:飯島 長男) 鈴木 弘、柴田 実(監事代理)			
		守 正英(代理:諏訪 淳一)、加瀬 功一(副会長)、平山 瑞子(監事)、松本 理			
	匝瑳市役所	企画課長 太田 和利、まちづくり戦略室長 林 雅之			
	事務局	江波戸、鎌形(九十九里ホーム) 西方、浦田(ミサワホーム)			
<発言者>	<内容>				
井上会長	<p>・開会挨拶</p> <p>この協議会の一番の目的は、「旧オーシャンマート跡地」をこども園と特養の2つを拠点とした起爆剤として、さらに何をつくれば、(どのようなことをすれば)地域を活性化していくことができるのか。(この点を)</p> <p>この協議会で話を詰めていただきたい。</p> <p>こども園については、9月12日(月)に市と県の担当者と具体的な打合せをする予定であり、特養については先月、市の選定委員会において、社会福祉法人九十九里ホームが整備事業者として選定された。</p> <p>また8月27日・28日に住民アンケートについての区長・連絡員様向け説明会を行い、現時点で137通のアンケートを回収した。集計結果は貴重なご意見として参考にしていきたい。</p> <p>毎月お集まりいただき恐縮ですが、率直なご意見いただきますよう、よろしくお願い致します。</p>				
事務局	<p>配布資料：第5回飯倉駅前地区まちづくり協議会</p> <p>1. アンケート実施説明会の報告</p> <p>・8月27日(土)・8月28日(日) 飯倉台コミュニティセンターにて。10地区参加、不参加の地区には個別に説明を実施。約1400件のアンケート配布。説明会では、参加者からアンケート結果を報告してほしいとの要望あり。 P2</p> <p>2. 地区調査について内容説明</p> <p>・植木の産地、九十九里海岸、温暖な気候と肥沃な土地、商業・工業、人口の現状等について。 P3</p> <p>3. 今後の進め方について</p> <p>・協議会にて方針設定を行い、分科会(仮)にて詳細検討する。そして次の協議会に報告し、承認を得る。 P4</p> <p>4. 事業計画の検討</p> <p>・テーマ、コンセプト、実現する為の課題、地域の強み・弱み、具体的な対策、事業内容を検討する。 P5</p> <p>5. ワークショップの開催概要</p> <p>・10月6日(木) いきいきシニア講座内にて意見を聞く。 P6</p> <p>6. 次回について</p> <p>・10月8日(土) 午後2時~</p> <p>・地区調査内容についての感想等</p>				
A委員	<p>匝瑳市は災害が少ないし、夏も(東京に比べて気温が)3~4度低い。安心して住みやすいところをうまく活かしていかないといけない。</p>				
B委	<p>自分自身、実家は多古町、横芝光町に住んでいて匝瑳市に通勤している。しかし買い物の中心は成田である。日常的な食料品などはいいが、子供服やスポーツ用品含め(便利な)成田に行ってしまう。</p>				

	同世代の家族に聞いてみても成田に行く事が多い。(自宅から)車で40分(かかるが苦ではない)。
C委員	通勤圏として旭市について成田市が多い。その影響で買い物も成田が多いのでは。匝瑳市は小さな祭りも多い。
	祭りを継承していくのは厳しい。この資料はよくまとまっている。今、健康な高齢者が多いので
	シルバー人材センターでは高齢者の就職をテーマにしている。
D委員	(以前の)ふれあいパーク(の時)も協議会を設立して意見を聞きながら進めていた。
	うまくいかないだろうとの意見も出たが、(今では)6~7億の売上が上がっている。15%を運営費としていて、
	最初は色々失敗もしたが現在は順調である。
	調査の内容の説明があったが、それについて今後(協議会で)協議していくことが大事ではないか。
E委員	説明を聞いて、土地柄や気候も良いし住みやすい所だと改めて思う。では何故人口が減っているのか。
	転出者が多くなってきたのはここに魅力がない(から)。ではどうするか(ということを考えるの)が
	この協議会での話。改めて何とかしたいと感じる。
	人口が「平成7年をピークに減少している」とあるが、これは合併前の数字か。同じ面積で比べて減っているのか。
匝瑳市	合併前の八日市場市と野栄町を合算した数字であり、同じ面積で比べている。
	エリアの特徴として、沢山の文化財がある。お祭りをはじめとした地域の伝統文化が根付いている。
	東京の高齢者に対してこういう地域だとアピールする上で、調査に含めたらよいのでは。
	例えば、「飯高檀林」に国の重要文化財の建造物が5つある。また国指定の重要無形民俗文化財が豊栄地区にある。
	それ以外にも「ハリストス須賀正教会」の「イコン画」など文化財が豊富。それに加えて地域のお祭りが1年を通じて
	沢山受け継がれている地域としてアピールしてはどうか。
F委員	今回祭りに参加させてもらったが、あれだけ人が集まるなら(他から)人が呼べるのでは。
	振る舞いを家の前でしたいがために、マンションから戸建に引っ越しされる方がいる。
	是非、祭りはアピールしてもらいたいと思う。人をどうやって呼ぶかより若い人をいかに出さないか(も大切)。
	大学を出て、就職してここに帰ってきてもらわないといけない。
井上会長	昔は近所付き合いや親戚付き合いなどは嫌だったが、(世間的には)今見直されてきている。医療については、
	市民病院も加えていただきたい。自分たちは気づかないが伝統文化を伝えてきている町だということは大きなことだ。
事務局	市民病院、地域のお祭り、文化財等も地区調査に入れます。
	・今後の進め方について
事務局	協議会で出た意見に対して、協議会から数人選出し、分科会(仮)として意見を集約、まとめてはどうか。
	それを次の協議会で報告し、それに対して承認、ご意見等言っていただく。
	議論をスピードアップしていくのに(この方法で)やってみてはどうか。
全委員	異議なし
事務局	分科会のメンバーについては、井上会長から後日お知らせさせていただく。
	・事業計画の検討について
B委員	福祉面の強み、施設が充実しているところをさらに組み合わせしていくのが大事なのでは。

C委員	限られたスペースの中で特養とこども園は決まっている、そして残りをどうするかが中心と解釈しているが、まず施設を作るにしても、そこに来る交通手段は車なので、十分な駐車スペースを確保する必要がある。あんまり欲張ると作った方がいいが利用しづらく（なるので、そう）ならないようにするのがポイント。商業施設があれば便利だが、先程の話のように、成田などそれより大きなところへ行ってしまう。商業施設（の中身）より、他にないものが必要。高齢化社会になって住みやすく便利な施設をやったほうが良いのでは。126号線は交通量も多いので、あえてもう一つ何かというなら「道の駅」などよいのでは。
A委員	CCRCも生涯活躍のまちづくりも移住促進であり、なるべく元気な高齢者を元気なうちに移住してもらう（ということ）。単にこども園と特養を建てるということだけでなく、このエリアに町をどうやって作っていかうか、という話。空き家も多い（ので活用し）、（コンセプトは）「全部まとめて面倒見る匠瑳市」でいいのかも。子育て中の家族や両親の面倒を見ないといけない家族も含めてまとめて面倒見る、などコンセプトにしたらどうか。そのために雇用の創出や、空き家を活かした住まいの手当てなど、位置付けて考えていけないといけない。
F委員	特養は介護度3以上なので、元気な高齢者を呼ぶには、サービス付高齢者住宅は是非作っていただきたい。しかしこの場所で株式会社や地主がやるには難しいと思う。公共性の高い社会福祉法人にやってもらいたい。今後、都内は介護難民となってまわりの県が引き受けざる得ない流れになるのでは。地元の方とのふれあいや、健康のために人が集まる施設を建てていただきたい。
G委員	人口減少が気になる。飯倉台は高齢者が増えている。子供たちを増やしていく手立てを考えていかなければいけないので、ちょうどいい機会では。具体的には道の駅、産地直売など。また、高齢者が1日過ごせる場所など（がよい）。
H委員	人口は減っているが（それを）補うためにどこに住ませるか。検討施設にサービス付高齢者住宅とあるが作って（人）呼び寄せる。都市部から（人）呼び寄せることによって人口や税金も増え、市の活性化に繋がるので良いのでは。
D委員	飯倉駅前のまちづくりだが、各地区の方にアンケート調査もし、総括して協議会で検討したものを活かしていく。いろんな意見が出るが、計画が一番大事であり、それに対する協議会での協議が必要。
C委員	みんなの意見を聞いたが、道の駅や高齢者の買い物の場所など賛成。医療関係では高齢者と先生が意見交換できる場、また子どもたちとは、テーマパークではないが繋がることのできる場所になればよいのでは。
事務局	いただいた意見は分科会で議論し、またご報告させていただく。次回以降、実現に向けて具体的な対策など細かい点をご意見いただきたい。次回は10月8日（土）14時から。
井上会長	色々ご意見ありがとうございます。分科会設置についてご承認いただけましたので、迅速に細かい点や、具体的な事項について協議し、また協議会で図らせていただく。このような形で進めていければより具体的に進んでいけると思っている。次回もよろしくお願い致します。
	以上